

NY マーケットレポート (2017 年 8 月 11 日)

NY 市場では、序盤に発表された米消費者物価指数が市場予想を下回る結果となったことを受けて、米国の年内の追加利上げに対する期待感がやや後退したとの見方が広がり、ドルは主要通貨に対して下落した。ドル/円は、一時 108.74 まで下落し、4/20 以来の安値を付ける動きとなった。その後、値頃感のドル買い戻しに加え、ロシア外相が、米国と北朝鮮との緊張緩和に向け、衝突回避のためあらゆる手段を尽くすと述べたとの報道を受けて、リスク回避の動きがやや後退し、ドル/円が急反発となり、クロス円も堅調な動きとなった。

そして、ユーロやポンドは、対ドルで上昇したことから、対円でも堅調な動きとなったが、ドル/円は終盤まで上値の重い動きが続いた。

2017年 8月11日 (金)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	109.12	109.27	108.91
EUR/JPY	128.26	128.57	128.19
GBP/JPY	141.62	141.87	141.39
AUD/JPY	85.76	86.00	85.45
EUR/USD	1.1753	1.1779	1.1750

LONDON	高値	安値
USD/JPY	109.21	108.91
EUR/JPY	128.54	128.05
GBP/JPY	141.80	141.26
AUD/JPY	85.87	85.51
EUR/USD	1.1774	1.1748

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	109.14	109.40	108.74
EUR/JPY	129.06	129.16	128.31
GBP/JPY	142.06	142.09	141.32
AUD/JPY	86.12	86.24	85.80
NZD/JPY	79.89	79.92	79.46
EUR/USD	1.1824	1.1846	1.1754

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	21858.32	+14.31
S&P500	2441.32	+3.11
NASDAQ	6256.55	+39.68
コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1294.00	+3.39
NY 原油	48.82	+0.23

8/14 経済指標スケジュール

08:50 【日本】2Q GDP
 08:50 【日本】2Q GDPデフレーター
 11:00 【中国】7月小売売上高
 11:00 【中国】7月鉱工業生産
 11:00 【中国】7月固定資産投資
 15:00 【スウェーデン】7月PES失業率
 16:30 【スウェーデン】6月個人消費
 18:00 【欧州】6月鉱工業生産
 21:30 【カナダ】7月住宅価格指数

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.290%	1.327%
3年債	1.444%	1.484%
5年債	1.741%	1.774%
7年債	2.002%	2.019%
10年債	2.189%	2.203%
30年債	2.786%	2.781%

ドイツ10年債	0.382%	0.415%
英国 10年債	1.062%	1.082%

8/14 主要会議・講演・その他予定

NY 市場レポート

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

7 月米消費者物価指数 (前月比) 0.1% (予想 0.2%・前回 0.0%)

7 月米消費者物価指数[コア] 0.1% (予想 0.2%・前回 0.1%)

7 月米消費者物価指数 (前年比) 1.7% (予想 1.8%・前回 1.6%)

7 月米消費者物価指数[コア] 1.7% (予想 1.7%・前回 1.7%)



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

指標結果データ

《消費者物価指数》

	7月	6月	5月	4月	3月	2月
全品目	0.1	0.0	-0.1	0.2	-0.3	0.1
除く食品・エネルギー	0.1	0.1	0.1	0.1	-0.1	0.2
エネルギー	-0.1	-1.6	-2.7	1.1	-3.2	-1.0
サービス	0.2	0.2	0.2	0.2	-0.1	0.3
食品・飲料	0.2	0.0	0.1	0.2	0.3	0.2
居住費	0.1	0.1	0.2	0.3	0.1	0.3
医療費	0.4	0.4	0.0	-0.2	0.1	0.1
娯楽費	0.3	-0.1	0.0	-0.1	0.0	0.6

《 経済指標のポイント 》

7月の米消費者物価指数は、前月比+0.1%となり、市場予想の+0.2%を下回った。また、前年比でも+1.7%となり、+1.8%の市場予想を下回った。食品価格は値上がりしたが、エネルギー価格が引き続き低下したことが影響した。価格変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数は、前月比+0.1%となり、前年比では+1.7%となった。FRBは物価上昇ペースが鈍いことを懸念しており、消費者物価の動きも追加利上げの時期を判断する要因になるとみられている。



出所：Net Dania

23:15

《 要人発言 》

カプラン・ダラス連銀総裁

- ・「米 GDP は、今年は2%を少し上回るペースで成長」
- ・「FRBは保有資産縮小を始めるのが健全」
- ・「赤字伴う減税を懸念」
- ・「資金の国内還流が設備投資を押し上げるかは疑問」
- ・「今年2回の利上げを強く支持していた」
- ・「インフレ目標達成の確証をもっと得たい」
- ・「思われているほど現状は緩和的ではない」

0:50

《 要人発言 》

カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁

- ・「なぜ今、景気を冷やす必要があろうか」
- ・「株式相場の調整が危機につながる可能性は低い」

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、北朝鮮を巡る国際情勢の緊迫化が引き続き材料視され、主要株価は軟調な動きとなった。ただ、独 DAX 指数は、割安感から買い戻しの動きも見られ、終盤に一時プラス圏まで上昇する場面もあったが、小幅安で引けた。



《 NY 原油市場 》

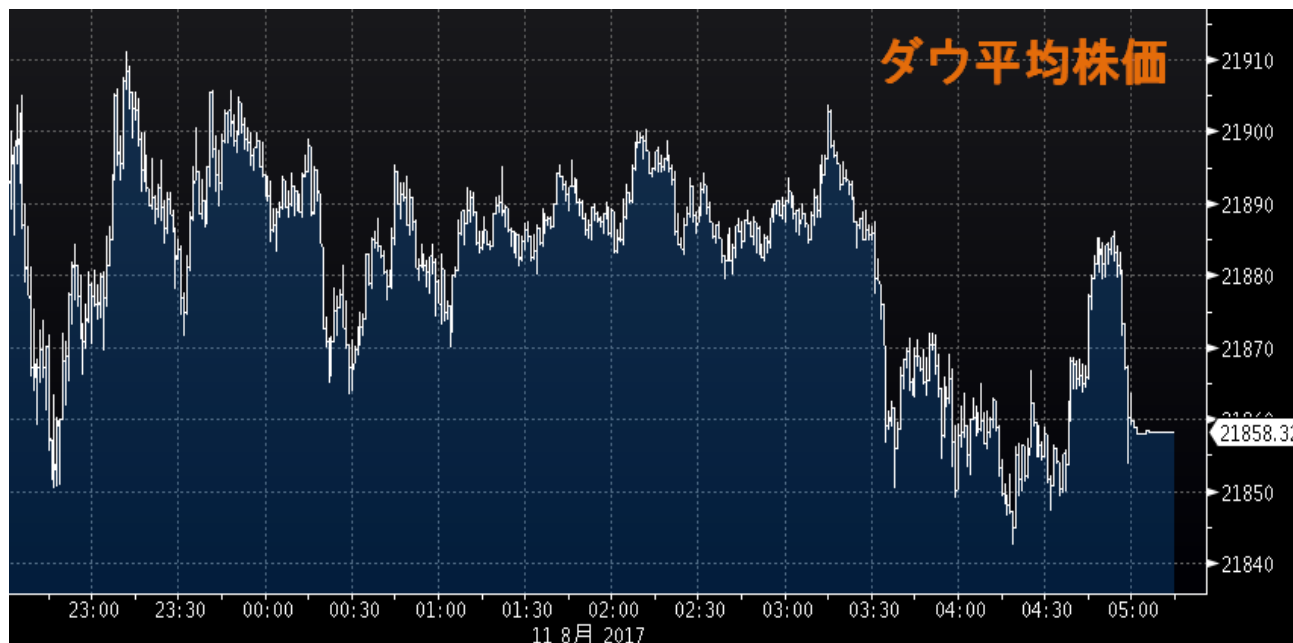
NY 原油は、中心限月が前日比 0.23 ドル高の 1 バレル=48.82 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、米石油掘削装置の稼働数の伸びが鈍化しているとの見方から、米国産の生産増加への警戒感が後退し、買いが優勢となった。IEA（国際エネルギー機関）が月報で OPEC の 7 月の減産目標達成率が 1 月の減産開始から最も低かったと指摘したことが嫌気され、売られる場面もあった。



《米株式市場》

米株式市場は、7月の米消費者物価指数が市場予想を下回ったことで、米追加利上げが遠のくとの見方が広がり、主要株価は序盤から堅調な動きとなった。ただ、北朝鮮を巡る緊張の高まりに対する懸念も根強く、やや上げ幅は限定的となった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、前日比 67 ドル高まで上昇した。ただ、その後は終盤まで上値の重い動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された米消費者物価指数が予想を下回る結果となったことを受けて、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。ドル/円は、一時 108 円台まで下落し、4/20 以来の安値を付ける動きとなった。一方、ユーロやポンドなどは、対ドルで上昇したことから対円でも堅調な動きとなった。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。